

磐田市

自治会連合会だより

回 覧

VOL.11

平成22年7月1日発行

発行：磐田市自治会連合会

編集：磐田市自治会連合会総務部会

連絡先

磐田市自治会連合会事務局 市自治振興課

☎(0538)37-4811

<http://www.iwatashi-jichikai.jp>

地域力を高め、
住みよいまちづくりへ!!



自治会連合会長
杉田 友司

一昨年秋に起きた世界同時不況からの景気回復が鈍く、その結果、市財政力低下や自治会の運営にも支障が起きています。先行きに明るさが見えてきたと言われていますが、厳しい状況は続いて行くと思います。

そうした環境の中で自治会連合会は、自治会長・住民の皆さんのご理解ご協力のもと、「安全安心の住みよいまちづくり」に向け一感のある活動推進に努めてきました。

自治会活動を取巻く内外の環境は大変厳しいものがあります。特に、核家族化のもとでの少子高齢化の進

行は、地域社会や自治会活動にも深刻化の一途をたどっています。全ての対応を行政に依存する事には限界があり、その為には、行政がやるべき事・自治会がやる事・行政と地域、団体との協働でやれる事等々の仕組みづくりが急務であると考えます。

そうした社会環境の変化に対応できる自治会として、自らの組織体制や運営・事業活動等々の見直し改善が求められる時を迎えたと思います。難しい時こそ自治会活動の原点に立ち、地域力と住民協力の体制をより大きくしていかななくてはならないと思います。そして、自治会と行政双方が良きパートナーとして、住みよいまちづくりに向かって、皆さんのご協力を頂き努力していきたいと思えます。

今年度の活動方針を決定

平成22年度の総会を4月10日、アミューズ豊田にて開催しました。昨年度決算および事業報告が承認され、ついで今年度の事業計画および予算が決定されました。
(詳細は2面)

また、4月17日の磐田支部を皮切りに、5支部（磐田、福田、竜洋、豊田、豊岡）の支部総会が開催され、支部ごとの事業の確認がなされました。



豊田支部総会



福田支部総会



豊岡支部総会



竜洋支部総会



磐田支部総会

平成21年度連合会収支報告

収入

費目	予算額(円)	収入額(円)	説明
会費	1,655,000	1,655,000	単位304自治会、連合会専任役員27名より会費5,000円ずついただいております。
交付金	10,000,000	10,016,100	市9,000千円 日赤社費交付金1,016千円
負担金	705,000	562,000	先進都市視察研修等の参加者負担金です。
前年度繰越金	889,992	889,992	
雑収入	1,008	406	預金利息等
合計	13,251,000	13,123,498	

支出

費目	予算額(円)	支出額(円)	説明
会議費	534,000	436,900	総会、三役会(年間14回)、理事会(年間10回)、各会議資料作成費等
事務費	3,010,000	2,535,319	役員手当、出張旅費、事務用品、傷害保険料、インターネット経費等
支部助成費	5,060,000	5,060,000	支部活動を支援し、地区活動の促進を図るため各支部に助成金を交付しています。 基本額:1自治会あたり10,000円 加算額:地区活動加算額として、1自治会あたり5,000円 また、地区安全会議の防犯活動を支援するため助成金を交付しています。 1団体50,000円×10団体
先進都市視察費	1,147,000	872,950	久居榑原風力発電施設(津市)及び閑宿(亀山市)、大須(名古屋市)のまちづくりについて視察しました。
事業部活動費	3,050,000	2,354,722	広報紙印刷代、自治会長コミュニティハンドブック印刷費、環境美化啓発ポスターコンクール実施経費、防犯パトロール用品購入費等
負担金	150,000	143,500	県自治会連合会負担金等
予備費	300,000	0	
合計	13,251,000	11,403,391	

平成21年度の自治会連合会の収支結果をお知らせします。
平成21年度は、新市長を迎え、取り巻く環境も大きく変化した年であったことから、市三役や市議会議員等との懇談を多く行なつて

まいりました。
また、単位自治会長を対象にアンケート調査を実施し、自治会が抱えている問題や連合会への要望などご意見をいただきました。

平成2年度連合会収支報告

平成22年度連合会予算

収入

費目	予算額(円)
会費	1,685,000
交付金	9,000,000
負担金	660,000
前年度繰越金	1,720,107
雑収入	893
合計	13,066,000

支出

費目	予算額(円)
会議費	511,000
事務費	2,960,000
支部助成費	5,325,000
先進地視察費	1,020,000
事業部活動費	2,810,000
負担金	150,000
予備費	290,000
合計	13,066,000

昨年度に実施した自治会長アンケートの結果や自治会を取り巻く環境の変化に伴い事業の内容や組織運営等について組織検討委員会を立ち上げ、議論を進めていきます。

- 【22年度事業・予算の特色】
- 1 市政への関心を深め、市民の声を市政へ反映させる
 - 2 安全・安心のまちづくり
 - 3 地区自治会活動の推進
 - 4 多文化共生社会の推進
 - 5 環境美化の推進
 - 6 広報活動
 - 7 役員及び会員の資質向上
 - 8 組織検討委員会
 - 9 その他 地域福祉、青少年健全育成など

- 【専門部主要事業】
- 総務部
連合会だよりの発行
自治会長コミュニティハンドブックの活用
自治会加入促進パンフレットの活用
ホームページの充実
- 環境部
環境美化統一行動
環境美化ポスターコンクール
環境美化キャンペーン
環境施設等の視察研修
エコドライブ講習会の開催
- 住民安全部
地区安全会議への助成と地区相互の情報交換会開催
防犯委員研修会の開催
防犯パトロール実施
防犯ポスターコンクール

平成2年度事業計画および予算



自治会アンケート結果



一昨年からの経済不況や自治会員の高齢化は単位自治会の運営にも大きく影響していると思われる、これらの実態を把握し、今後の自治会連合会の活動に活かしていくようアンケート調査を実施しました。

設問については、高齢者の自治会役員の役職免除規程や、草刈りや堀ざらいなどの自治会作業への参加免除規定、自治会費の減免措置を設けているかなどです。

また、自治会への入会金や商店、企業等の自治会費の徴収なども設問に加えました。

さらに、高齢化進行の問題点や、自治会連合会への要望等についても記載していただきました。

回答率は、84・9%
(258/304)でした。



高齢者の自治会役員の役職免除規定について

約1割の自治会において基準が作られていましたが、他の多くの自治会は基準を設けず、状況に応じて対応しているとのことでした。



高齢者、障害者世帯等の自治会作業の参加免除規定について

約1割の自治会において基準が作られていましたが、7割以上の自治会は基準を設けず、状況に応じて対応しているとのことでした。

高齢者、障害者世帯等の自治会費の減免措置について

約2割の自治会において基準を作っていました。他の多くの自治

会は減免措置基準を設けていないとのことです。



高齢化進行の問題点について

役員のなり手がいない。
自治会活動、作業への参加が難しくなってきた。
ゴミの搬出ができない家庭が増えてくる。
災害時見守り、助け合いの支援者がいない。
会員数が減少し、会費の収入が減っている。

自治会連合会への要望等

自治会連合会等の活動、会合などが多く、負担である。
各種事業を見直し、あまり効果のないものは廃止する等スリム化を図るべき。
人数や世帯が少ない自治会について他自治会との協同運営がで

きるよう配慮願う。
高齢化時代に対応した自治会運営を指導願いたい。

アンケートの詳細は自治会長さんがお持ちの自治会長コミュニティハンドブック（平成22年度版）または連合会ホームページをご覧ください。



今年度の特徴的な事業紹介

組織検討委員会の設置

昨年実施した自治会アンケートから、自治会連合会の事業の見直しやスリム化を望む声が多く上げられました。また、人と人とのつながりの希薄化や少子高齢化などの環境変化が、自治会活動を進める上で支障となってきたております。

こうしたことから自治会連合会事業の内容や組織運営及び地区自治会の区域等について組織検討委員会を設け議論を進めていきます。



防犯強化月間、防犯パトロール推進大会

例年の防犯パトロール週間を、本年度から期間を延長し、防犯強化月間としました。実施月は、5、8、12月とし、パトロール活動や防犯横断幕の掲出等を行います。平成20年度から行なってきた防犯パトロール推進大会を、今年は8月2日に福田屋内スポーツセンター・東側駐車場にて開催し、地域防犯活動を盛り上げていきたいと考えています。



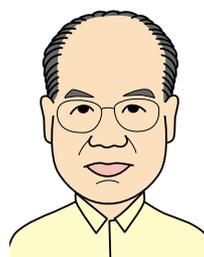
エコドライブ講習会

エコドライブとは、やさしくアクセルを踏む、加減速の少ない運転を行なう、早めのアクセルオフに心がけるなど、燃料消費をできるだけ少なくする運転のことです。

このエコドライブ講習会に連合会役員が参加し、エコドライブの有効性や方法に関する理解を深め、地域への普及展開を図っていきます。また、この様子について連合会だよりで報告したり、環境部にてエコドライブ推奨チラシを作成し、さまざまな場面で配布したいと考えています。



編集後記



編集委員長
村松伸洋（上神増）



今回の連合会だよりのキーワードは「少子高齢社会」。連合会が目指す安全安心の住みよいまちづくりは、子どもを犯罪や事故から守り、お年寄りを孤立させないことに集約できると思います。

昨年のアンケートからもこの点で大変な苦労があることが伺えます。

自治会運営の課題を解決し、自治会長の負担や悩みを軽減するために存在するのが連合会です。

役員同士、役員と住民との寄り合いを重ね、語り合いの中で前を向いて進むための英知を結集したいと思います。

